

## 【NEWS RELEASE】

2019年4月23日

各 位

株式会社三井住友フィナンシャルグループ

「攻めの IT 経営銘柄 2019」の選定について

株式会社三井住友フィナンシャルグループ（執行役社長グループ CEO：太田 純、当社グループを総称して「SMBCグループ」）は、本日、経済産業省・東京証券取引所による「攻めの IT 経営銘柄 2019」に選定されました。

「攻めの IT 経営銘柄」は、中長期的な企業経営の視点から企業価値向上や競争力強化に結びつく戦略的な「攻め」の IT 投資を実践している上場会社を選定し、投資家にとって魅力のある企業として紹介しているものであり、今回の選定では、特にデジタルトランスフォーメーション（DX）を推進する取組が重視されています。

SMBCグループは、現中期経営計画の中で、デジタルイノベーションの推進を重要な戦略の一つとして位置付け、進化するデジタル技術を取り込みながら、新規ビジネスの創造やビジネスモデル改革などの「攻め」の IT 投資に積極的に取り組んでおります。今回、その点が高く評価され、銀行業としては、唯一の選定となりました。特に評価された取組として、以下の点が挙げられます。

- ・ 株価動向の予測サービスや、企業の業況変化検知システムの開発等、AI（人工知能）・データ利活用を通じた、ビジネスモデル改革の取組
- ・ 利用者向けの新しいキャッシュレス決済エクスペリエンスの提供や、事業者向けの次世代決済プラットフォームの構築を通じた、キャッシュレス化推進
- ・ 独自のチャットボット技術の外部企業向けライセンス供与等の取組
- ・ AI・データの利活用に係る大規模な社内研修等による、企業文化の変革に向けた取組、および AI 特有のリスクをコントロールのための独自の倫理規定の策定

SMBCグループとしては、引き続きデジタル技術を積極的に活用し、お客さまの利便性向上を通じた更なる企業価値の拡大を目指してまいります。



攻めのIT経営銘柄2019  
Competitive IT Strategy Company

以 上